

# 接ぎ木の最盛期

3月に入り、農場ではナスをはじめトマトやウリ類の接ぎ木を農場職員総出で行っています。

接ぎ木とは根本の部分の「台木」と上部の「穂木」をつなぎ合わせることで、病虫害に強く丈夫な苗をつくることができます。果実は上部の植物体の品種が着果・成長し、他品種の根を借りていることとなります。

従って、2つの苗が必要になります。専用のハサミで鋭く切った切断面同士（形成層）をしっかりと合わせないと癒合・活着せず、技術的にも簡単ではありません。

本校ではスーパーウィズを使用して接ぎ、適度な温度と湿度で活着を促進しています。

